

事業計画書

概要

公益財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団及び公益財団法人八千代市環境緑化公社は、これまで文化及びスポーツの振興、また緑化の推進というそれぞれの目的に沿って多くの事業を展開してきました。

しかしながら、近年の社会情勢や市民ニーズの変化、更には行政の効率化へつながることへの期待等から、昨年度、八千代市から「財団法人のあり方について」が示され、新たな体制に向けて協議を重ね、市が求める新たな役割を取り入れつつ市民サービスの向上、財政の健全化及び組織の強化に取り組むため、令和3年4月1日に両法人を統合し、名称を「公益財団法人八千代市地域振興財団」に改めることとし、花や文化を慈しみ健康で市民に誇れるまちづくりに向け新たにスタートすることになりました。

新法人の事業につきましては、Ⅰ文化及びスポーツ振興事業、Ⅱ緑化事業、Ⅲ施設管理運営事業を柱として構成します。

文化及びスポーツ振興事業では、文化芸術活動やスポーツを通じ、地域の活性化と潤いある市民生活に寄与するため、様々な事業を展開します。文化部門では、鑑賞事業をはじめ市民文化創造事業や普及啓発事業を、スポーツ部門では、スポーツ及びレクリエーション推進事業などを、指定管理業務として行う指定事業や自主事業、八千代市からの受託事業により実施します。

緑化事業では、緑の保全及び緑化の推進に資する事業を実施し、自然環境の保全や地域の活性化を図ります。緑の保全事業では、良好な生活環境の維持を図るための草刈りやビオトープの管理など、緑化推進事業では、花苗配付や花壇づくりへの支援などを自主事業や受託事業として実施します。

施設管理運営事業では、市民会館や市民体育館をはじめとした本市の主要な文化施設及びスポーツ施設を中心に管理運営を行い、市民の自主的な文化、スポーツ、緑化活動や集会の利用に供することにより、地域に密着した文化、スポーツの振興と地域の交流や賑わいの創出による地域活性化を促進します。

一方で、昨年より続いている新型コロナウイルスの感染拡大は、我が国の社会・経済、そして人々の暮らしに至るすべての分野において深刻な影響を及ぼしております。財団の事業運営についてもその影響は避けられない状況にありますが、感染拡大の防止に努め、市民の安全を最優先としながら、創意工夫のもと各種事業を推進します。

また、経営の安定化を図るため、広く市民、市内企業・事業所、各種団体に対して、財団の事業内容と成果等をアピールし、賛助会員の拡大と寄付の募集を行い、自主財源の増額に努めるとともに、草刈り業務の受注拡大とイベント等の実施の際

の収益確保に努めます。更に、事務支援システムの活用及びアウトソーシング等に取り組み、経費の削減と事務処理の最適化を目指します。

事業実施にあたりましては、八千代市の出資団体及び公益財団法人として、本市の文化及びスポーツ、緑化施策推進の一翼を担い、公益に果たす役割と存在意義を念頭に置き、限られた予算を有効に活用しながら、効果的で効率的な事業運営に取り組みます。

I 文化及びスポーツ振興事業

市民会館や市民体育館を主な拠点として文化芸術活動やスポーツを通じ、地域の活性化と潤いある市民生活に寄与するため、様々な事業を展開します。

1 文化振興事業

(1) 鑑賞事業

クラシック音楽やポピュラー音楽、伝統芸能など市民に良質な舞台芸術を提供します。

ちば文化振興ネットワークとの連携事業である、0歳児から鑑賞可能な「親子deオペラ鑑賞デビュー」、恒例の「新春寄席」、「高嶋ちさ子 ピアノクインテットツアー」や興行者との共催事業など幅広い年齢層を対象に多彩な事業を実施します。

(2) 市民文化創造事業

市民自らが出演及び企画に携わることができる公演やワークショップなど舞台芸術の創造に市民が参加する事業を実施します。

昭和49年から継続している「市民芸能祭」、アマチュアミュージシャンの祭典「やちよミュージックフェスタ」を実行委員会とともに実施するほか、本市の文化振興において、多大なる貢献をいただいている文化団体と共催で事業を行い、市民の文化活動を側面から支援します。また、八千代市からの受託事業として、関係団体と協力しながら「人形劇まつり」「手工芸展」「新春八千代市書道会展」を実施します。

(3) 普及啓発事業

ふるさとを想う心や平和への願いといった公益的なメッセージを伝える公演や、自治体や公共的団体との共催により、無料もしくは低廉な料金で文化芸術を市民に広く親しんでもらうことを目的に事業を実施します。

八千代市合唱協会加盟団体の出演による「県民の日記念合唱フェスティバル」や市民会館の舞台裏を紹介する「バックステージツアー」、文化センターでは講

座など実施します。また、八千代市からの受託事業として、実行委員会等と協力しながら「八千代平和事業」「成人式記念行事」を実施します。

2 スポーツ振興事業

(1) スポーツ及びレクリエーション推進事業

市民がスポーツに親しみ、体を動かし元気であることの喜びを感じながら健康増進やスポーツを通しての仲間づくりができる機会を提供するため、各種事業を実施します。

市民体育館では、人気事業となっている「シルバー健康体操」や「バドミントン教室」、他校生徒との交流や社会人選手の指導が好評の「中学生卓球教室」を実施します。総合グラウンドでは、「わんぱく運動会」や「サッカー教室」など八千代市体育協会が主体となり、施設特性に応じた様々な事業を展開します。

また、八千代市からの受託事業として本市の冬の大イベントとなっている「ニューリバーロードレース in 八千代」、「釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会」を関係団体と連携しながら実施します。

(2) 講習・研修事業

スポーツ活動への市民の多様化に応じるため、指導者の指導力向上など、体育協会が主体となり事業を実施します。

II 緑化事業

緑の保全及び緑化の推進に資する事業を実施することで、自然環境の保全や地域の活性化を図ります。また、花と緑に囲まれた潤いのあるまちづくりを推進するため、様々な事業を展開します。

1 緑の保全と緑化推進事業

(1) 緑の保全事業

緑の保全と良好な生活環境の維持を図るため、住宅の庭や空き地などの草刈り等を実施するほか、八千代市からの受託事業として、ビオトープの維持管理を実施します。

ア 草刈り

大型草刈機等を活用し、空き地や駐車場等の草刈りを行い、市民等の良好な生活環境の維持に努めるとともに、適正な料金設定と手続きの簡素化に基づき事業の普及と利用者の拡大を図り、収入の増加に努めます。

イ ほたるの里管理

ほたるの里づくり実行委員会と連携し「ほたるの里」の維持管理に努めます。

ウ 門松カード配布

門松用の松の伐採防止と緑化の啓発を目的に門松カードの配布を行います。

(2) 緑化推進事業

市内の緑化を直接的・間接的に推進するために、花壇づくりへの支援をはじめ、市の花「バラ」の普及、花苗配布や助成金の交付、緑の講習会やコンクールの開催等、各種事業を実施します。

ア 花苗配布

市民への緑化意識の啓発と自発的な緑化活動を支援するため、花苗を無料配付します。

イ 助成金の交付

市民からの申請に基づき、公道に面した生垣の造成や公益性のある場所に花壇やプランターを設置し、花苗の植栽や草刈りなどの維持管理を行う活動に対し助成金を支給します。

ウ プランター設置

市内に設置したプランターや公益性のある空地等に、年間を通じて花苗を植栽し、適切な維持管理を行います。

エ バラの小径整備

歩道にバラを植栽している緑化団体等への支援を行うことで「バラのまち八千代」のシンボリック景観を促進します。

オ コンクールの実施

「花と緑」をテーマとした緑化推進の普及・啓発を目的とする各種コンクールを実施します。

カ 緑の講習会

市民の緑化意識と技術の向上を目的に、子どもから大人まで、幅広い市民の方々を対象に、各種の講習会を実施します。

キ 緑の相談

市民の緑化に対する知識の醸成と対応技術の向上を図るため、毎月第4木曜日を「緑の相談日」とし、緑の相談員による市民相談を実施します。

ク 記念樹配布

住宅の取得等の記念にバラ苗を配布することで、市の花「バラ」の普及に努めます。

ケ 公園維持管理（群生地造成と維持管理）

市民協働で造成した公園内の群生地（彼岸花）の維持管理を行い、開花時に多くの人たちに観賞していただけるように努めます。今年度は更に、区域の一部拡大と補植を行うとともに、観賞を市のイベントとすることについて、募金や賛助会員確保等の観点から、市及び商工会議所等に提案します。

コ イベントへの参加

八千代どーんと祭等に参加し、緑化の啓発に努めます。

Ⅲ 施設管理運営事業

市民会館をはじめとする文化施設と市民体育館をはじめとする有料公園施設及び総合グラウンド等のスポーツ施設との相互の連携をより一層深めながら、良好な状態を維持できるよう適切な管理運営を行います。市民にとって、快適で利用しやすい施設の提供と活気にあふれた活動が展開される場となるよう努力します。

なお、新型コロナウイルスの影響は今後も続くことが予想されますが、感染拡大の防止のため、手指消毒及び施設内消毒、換気の徹底や利用者名簿の管理など利用者の安全を最優先とした運営に取り組みます。

1 文化施設の管理運営

八千代市市民会館、八千代台文化センター、勝田台文化センター及び勝田台ステーションギャラリーの管理運営を引き続き行います。

施設の設置目的である「市民の福祉の向上と文化・芸術の発展に資すること、コミュニティ活動及び社会教育活動の振興を図ること」を念頭に置き、財団のこれまでの経験とネットワークを活かし、効果的で効率的な管理運営を行います。

施設の貸出業務につきましては、市民の平等な利用の確保に努めながら、おもてなしの心で接します。特にホールの利用においては、利用者の気持ちに寄り添い、経験豊富で専門性の高い職員を配置し、多様な利用形態に対応し、思い出に残るステージを共に創り上げ、満足度向上を目指します。

老朽化の著しい八千代台文化センター、勝田台文化センターは、常に設備の状況を把握し、事故や不具合発生の防止に努めるなど適切な管理を行います。

また、勝田台市民文化プラザ全体の維持管理業務では、これまでの経験を活かし、支所、図書館等との連携を図りながら滞りなく業務を進めます。

2 スポーツ施設の管理運営

八千代総合運動公園市民体育館・野球場・庭球場、萱田地区公園野球場・庭球場、村上第1公園庭球場及び八千代市総合グラウンドを、八千代市体育協会との共同事業体として管理運営を行います。また、睦スポーツ広場、上高野多目的グラウンドの管理業務も引き続き受託し、地域のスポーツ及び相互交流の場の提供に努めます。

施設の設置目的である「市民スポーツの中核施設として、スポーツやレクリエーションの普及振興を図り、住民の体力向上、健康増進、明るく豊かな市民生活の形成に寄与すること」を念頭に置き、財団及び体育協会のこれまでの経験とネットワークを活かし、効果的で効率的な管理運営を行います。

利用者の皆様が、快適に利用できるよう丁寧かつ親しみのある案内を心掛けるとともに、アンケートや利用者との対話の中で寄せられた意見を大切にして施設

運営に反映していきます。また、体育館や野球場など老朽化の著しい施設では、常に設備の状況を把握し、安全面を最優先に適正な管理運営を行います。

IV 情報事業

市民の地域活動の交流と活性化を推進し、市民がいつでも気軽に文化・芸術及びスポーツ活動、緑化活動に親しめるよう、財団ホームページや情報紙「森の詩」、機関紙「花と緑」などにより、関連情報を広く発信してまいります。紙媒体においては、潜在的な顧客の掘り起しを目的に、新聞折込版の「別冊森の詩」も引き続き発行します。事業の案内と同時に施設の利用案内も詳細に紹介するとともに、ツイッターなどのSNSも活用し、タイムリーな情報をいち早く市民のもとへ届けるなど、施設の利用促進を図ります。

「フレンド会員」及び「賛助会員」については、新財団への支援者として「賛助会員」への統一や、新たな愛称などを検討し、個人はもとより企業・事業所、各種団体等に対して入会を呼びかけ、財政運営の安定化を図るためにも、1割以上の新たな会員の確保に努めます。

また、文化施設の管理運営を行う県内12財団で構成される「ちば文化振興ネットワーク協議会」及びスポーツ施設の管理運営を行う近隣市6財団で構成される「湾岸ネットワーク」につきましては、会議などに率先して参加し、お互いのノウハウの活用や様々な情報の共有化により、相互のレベルアップを図ります。

(1) 広報

- 財団情報紙「森の詩」の毎月発行
- 財団情報紙「別冊森の詩」「花と緑」の適時発行
- 財団ホームページの活用

(2) 賛助会員の拡充